

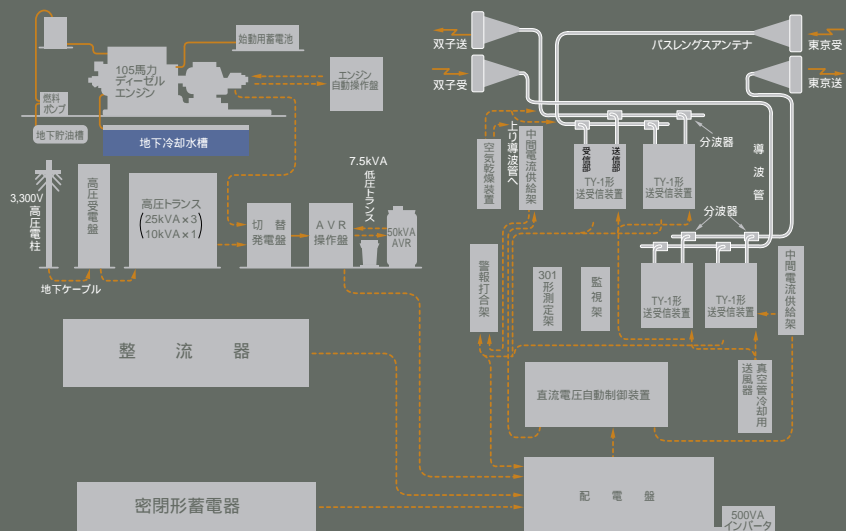
マイクロ波時代を開いたSF-B1方式

SF-B1 system that opened up microwave-era (since 1951)

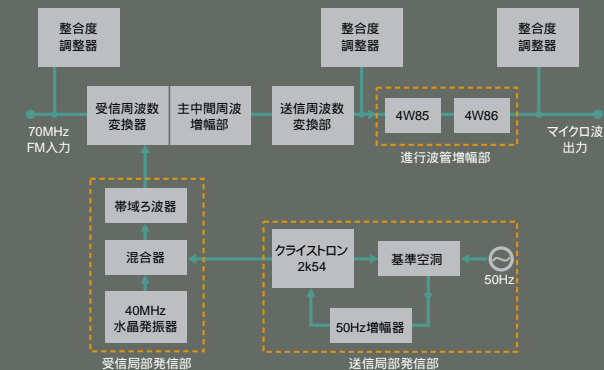
最初に開発されたマイクロ波中継方式。4GHz 帯を使用、1システムで360通話路の多重電話信号または1チャンネルの白黒テレビ信号を伝送。1954年に東京 - 大阪間に導入した。しかし、伝送容量の増大と保守の簡易化、装置の小型化と経済化など多くの改良すべき点を残していた。

方式の概要 System overview

中継局の構成図



中継局の系統



諸元

方式名	SF-B1	最大伝送容量 (電話換算)	360ch/sys	
周波数帯域幅	600MHz	伝送内容	電話、モノクロTV	
システム数	7無線チャンネル	適用される区間	電話	長距離
隣接チャンネルとの間隔	80MHz		TV	長距離
送受間周波数間隔	40MHz	標準中継間隔長	50km	
中継方式	ヘテロダイン中継	空中線利得	42dB/4m	